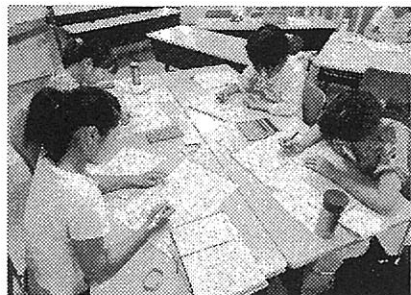


公民館託児保育付き講座 平成24年9月7日～10月12日実施(金曜日 全6回)

テーマ《見つけよう！わたし流時間術》

子育て中で慌ただしい時期だからこそ、時間を意識して生活することで満足できる時間の過ごし方を目指そうと、6回にわたって講座を実施しました。参加者の皆さんは、時間や空間を整理するには、まずは自分の価値観や人生観の整理が大切ということに気づき、それぞれが“わたし流”の暮らし方を再発見していました。皆さんのすっきりした表情が印象的でした。

そして、「講座終了後も子どもをあずけて学習したい!」という参加者が集まって“おかたづけ倶楽部”という公民館サークルを立ち上げ、月1回の活動を始めました。



↑ワークシートに一日のスケジュールを書き出しました。



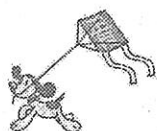
↑グループでの話し合いも活発に行なわれました。



↑皆さんの真剣な熱意が伝わるでしょうか？

【参加者の声】

- ・何気なく過ごしていた時間、何となく片付けていた空間を、目的を持って頭の中をスッキリさせて時間を大切に過ごすこともヒントをたくさんもらえました。
- ・子育ての状況が同じで共感できることが多く、参加していて楽しかったし居心地が良かった。色々な価値観に出会えるのも面白いが、こういう風に共感できるのもとても良い。
- ・託児付きがとてうれしかったです。



公民館託児保育付き講座 平成24年10月26日～12月7日実施(金曜日 全5回)

テーマ《子育てとセルフカウセリング》

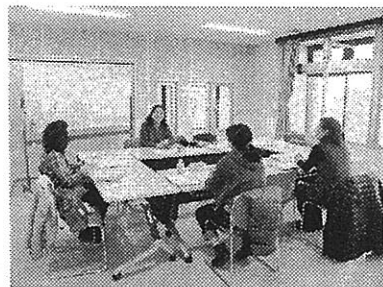
セルフカウセリングとは、自分の日常生活の経験を取り上げて自己探求をする自己発見方法です。自分と相手の会話や心情を記載することで、気持ちを明確にすることができ、お互いの気持ちを理解していきます。

講座の中では、講師の水村先生よりセルフカウセリングの基本的な部分について教えて頂いた後に、参加者自身が実践していくと、最初は戸惑いながら記載する様子も見られましたが、徐々に書き慣れていき、子育てやその他の日々の生活の問題などを考えながらまとめあげることができました。

講座を通して、これからの日々の生活を充実した形で暮らしていけるきっかけとなればと思います。



↑真剣にシートを記載したり、談笑しながら和やかな雰囲気もあり、あっという間に5回の講座が終わりました。



【参加者の声】

- ・先生もおだやかで、とてもリラックスして講座を受講できました。楽しかったです。
- ・自分を見つめることができて良かったです。『みつめる方法を知ることができた』事が、気づきでした。
- ・毎回楽しみな講座でした。今後、自分の子育てにおいて、自己解決のヒントを学ぶ事ができたと思います。また保育も毎回安心してあずけさせていただきました。

今後の予定 (公民館託児保育付き講座) 平成25年1月25日～3月15日実施予定(金曜日 全8回)

テーマ《生活のストレスを脳からリフレッシュしよう!》

日々の生活でストレスの要因となるものは数多く存在しています。そんなストレス発散にどのようなことをしていますか?この講座では自宅で気軽にできるストレス解消の方法を、「大人のぬり絵」「家庭でできるハーブとアロマ」という2つのアプローチで実習を交えて学んでいきます。

寒くて外に出たくないこんな時期だからこそ、公民館で同じ目的を持つ仲間たちと学習に励みませんか?ご参加をお待ちしています!(募集などの詳細は『広報ふっさ』1月4日号をご覧ください!)

(前ページからの続き)
田中 子どもたちと同じ目線で遊びやおやつの時間を過ごしています。保育室内では、年齢の違う子どもたちが一緒に時間を共有しています。活動を通しての子どもたちの成長を支えています。
――講座の初回と最終回で子どもたちの変化はどうですか?
田中 最初は親と離れるのが不安で、泣いて入室することが多いのですが、回数を重ねるごとに保育室が楽しく遊ぶ場だということが分かってくるので、最後の方は、お友達と会うのが楽しみになり通うことが嬉しくなってきました。別室で学習している親たちにもそれがわかるようです。
――集団活動を通して自分のことは自分でするという『自立』が芽生えます。ここが一番大きな子どもたちの変化です。
――保育者として大事にしていることはなんですか?
田中 子どもたちの自立を支えること、自分を大切に相手と向き合う心育てることです。
田中さん、現場のお話ありがとうございました。親同士・子ども同士の出会いの場として、皆さん保育室事業の参加をお待ちしています!

《今年(4月～12月)はこんな保育室事業が行われました!》

保育室事業には、親が子育てや生活課題についての学習を別室で行ない、子どもは保育室(児童室)で同年齢の仲間と遊びながら集団の中で自立を促す《保育室併設講座》と、子育て中の世代が学習に参加しやすいことを目的とした《公民館託児保育付き講座》の2種類があります。今年、公民館で行なわれた保育室事業をご紹介します!

保育室併設講座

平成24年9月4日～12月18日実施(火曜日 全14回)

テーマ《子どものリズムで子育て♪》

子育てのヒントの一つとして、シュタイナー教育に基づく“成長のリズム”を学習するため、『東京賢治の学校』に講師を依頼し、学校での実践や実技を交えながら成長のリズムをテーマに学びました。

また、保育室で保育者と一緒に過ごしている子どもたちの成長と講座での学びとを確認し話し合う、保育学習会も講座の一つとして行ない、「家事・育児について本音で話ができる」、「子育ての方法や悩みを共有できる」と参加者に好評でした。

子どもの集団での成長を併せ見ながら学ぶ事ができる、保育室併設講座にぜひ参加してみてください!



↑保育室前に集まり、点呼した後みんな入室します。みんな一緒に「もーいっかい?」が合い言葉です!



↑みんなで会話を交えて、シュタイナー教育についての学習や実習を行ない、学びを深めました。



↑みんなで一斉に退室します。まだ遊び足りないかな?感動の再会かな!?

【参加者の声】(親の学習の感想)

- ・講座の内容をよくわからないまま、とりあえず託児付きだし・・・、という感じで参加したのですが、とてもきめ細かい保育で、学習内容も面白く、よい日々が過ごせました。
- ・シュタイナー教育を知って、モノの見方や考え方が多様化できた様に思います。講座全体を通して日々の育児に取り入れられることも多くとても有意義でした。このような機会を得られ感謝しています。
- ・楽しかった。生活の一部、保育の一場面を深く考えることができ、とても充実した時間でした。

【参加者の声】(子どもの保育についての感想)

- ・保育室でも自分を発揮できているようで安心しました。「仲間によって成長する」ということがよくわかりました。
- ・子どもも保育室での時間を楽しんでいるようで、安心して講義を受けられましたし、とてもいい刺激をいっぱいもらい学んだようで、その成長もうかがえました。
- ・『泣く』ということ、よく考え受けとめるようになりました。子どもは毎回泣いていましたが、その意味は毎回同じではないのかもしれないと気づきました。